



## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月6日

上場会社名 世紀東急工業株式会社  
 コード番号 1898 URL <https://www.seikitokyu.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 平 喜一  
 (氏名) 川野 隆紀  
 TEL 03- 3434- 3256

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	15,060	14.5	338	174.6	343	181.7	321	78.8
2020年3月期第1四半期	13,150	0.8	123	41.3	121	41.7	1,521	820.7

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 318百万円 (79.7%) 2020年3月期第1四半期 1,565百万円 (604.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	7.99	
2020年3月期第1四半期	37.72	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	71,001	35,057	49.4	870.04
2020年3月期	74,656	36,632	49.1	909.13

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 35,057百万円 2020年3月期 36,632百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		47.00	47.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		32.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	36,900	18.5	1,600	11.3	1,700	18.6	1,300	50.5	32.26
通期	87,900	11.8	5,600	6.1	5,500	8.5	4,400	32.8	109.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 2020年5月11日に公表した第2四半期(累計)の連結業績予想のみ修正しております。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	40,414,407 株	2020年3月期	40,414,407 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	120,012 株	2020年3月期	119,939 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	40,294,432 株	2020年3月期1Q	40,320,099 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績等は予想数値と異なる可能性があります。業績予想につきましては、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(参考) 2021年3月期の個別業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	34,300	14.2	1,600	18.1	1,300	△48.2	32.26
通期	83,100	12.0	5,100	△8.0	4,200	△31.7	104.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2020年5月11日に公表した第2四半期(累計)の個別業績予想のみ修正しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績等は予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(重要な後発事象)	8
3. 補足情報	9
四半期個別受注の概況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により経済活動が停滞したことから、極めて厳しい状況となりました。

道路建設業界におきましては、防災・減災やインフラの老朽化対策工事等により建設需要は底堅く推移したものの、新型コロナウイルス感染症による影響が社会全体に及んでおり、予断を許さない事業環境となりました。

このような状況のもと、当社グループでは、計画最終年度となる「中期経営計画（2018-2020年度）」に基づき、中核事業の競争力強化に注力するとともに、将来における事業環境の変化に対しても迅速、的確、柔軟に対応できる強固な経営基盤の構築に向け、各種施策を推進してまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、前年同期に大型工事の受注が複数あったことから、受注高（製品売上高および不動産事業等売上高を含む）は前年実績を下回る169億6百万円（前年同期比19.0%減）となりましたが、豊富な手持工事の進捗などにより売上高は150億60百万円（前年同期比14.5%増）となりました。また、損益面につきましては、経常利益は3億43百万円（前年同期比181.7%増）となりましたが、前年同期に特別利益として独占禁止法関連損失引当金戻入額14億48百万円を計上していたことから、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年実績を下回る3億21百万円（前年同期比78.8%減）となりました。

当社グループにおける建設事業および舗装資材製造販売事業におきましては、第1四半期から第3四半期に比べ、第4四半期の売上が占める割合が相対的に高く、一方、事業運営にかかる費用については年間を通じて恒常的に発生することから、当社グループの売上および損益の状況は季節的に大きく変動いたします。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較し36億54百万円減少の710億1百万円となりました。売上債権が減少したことなどにより流動資産は35億43百万円の減少となり、また、固定資産につきましては1億10百万円の減少となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較し20億78百万円減少の359億44百万円となりました。流動負債は仕入債務が減少したことなどにより18億15百万円の減少となり、また、固定負債につきましては借入金の一部返済等により2億63百万円の減少となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益3億21百万円を計上いたしましたが、期末配当金の支払いなどにより、前連結会計年度末と比較し15億75百万円減少の350億57百万円となりました。この結果、自己資本比率は49.4%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想および個別業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、前回公表時（2020年5月11日）から、それぞれ第2四半期累計期間の予想数値を修正いたしております。詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

通期の業績予想につきましては、前回公表時から予想数値の変更はございません。

なお、現時点では当社グループの業績に新型コロナウイルス感染症の感染拡大により著しい影響は生じておりませんが、先行きについては不透明な要素も多く、今後、業績予想の修正が生じる場合は速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	14,169	20,342
受取手形・完成工事未収入金等	26,004	15,140
未成工事支出金	6,007	7,724
材料貯蔵品	310	376
その他	2,560	1,928
貸倒引当金	-	△4
流動資産合計	49,051	45,508
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	8,774	8,871
機械、運搬具及び工具器具備品	19,358	19,427
土地	14,195	14,195
建設仮勘定	751	794
減価償却累計額	△20,275	△20,537
有形固定資産合計	22,805	22,751
無形固定資産	463	457
投資その他の資産		
その他	2,335	2,285
貸倒引当金	-	△0
投資その他の資産合計	2,335	2,285
固定資産合計	25,604	25,493
資産合計	74,656	71,001

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	23,632	19,669
短期借入金	472	407
未払法人税等	558	37
未成工事受入金	5,216	8,768
完成工事補償引当金	15	15
工事損失引当金	44	39
賞与引当金	1,267	639
その他	2,701	2,515
流動負債合計	33,908	32,092
固定負債		
長期借入金	300	150
退職給付に係る負債	3,742	3,604
その他	72	96
固定負債合計	4,114	3,851
負債合計	38,023	35,944
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	510	510
利益剰余金	35,480	33,908
自己株式	△71	△71
株主資本合計	37,919	36,347
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2	0
為替換算調整勘定	△16	△79
退職給付に係る調整累計額	△1,267	△1,210
その他の包括利益累計額合計	△1,286	△1,289
純資産合計	36,632	35,057
負債純資産合計	74,656	71,001

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	13,150	15,060
売上原価	11,892	13,472
売上総利益	1,258	1,587
販売費及び一般管理費	1,134	1,248
営業利益	123	338
営業外収益		
受取賃貸料	5	6
業務委託料	2	11
雑収入	5	8
営業外収益合計	14	26
営業外費用		
支払利息	3	1
支払保証料	8	15
雑支出	3	5
営業外費用合計	15	22
経常利益	121	343
特別利益		
固定資産売却益	-	0
独占禁止法関連損失引当金戻入額	1,448	-
特別利益合計	1,448	0
特別損失		
固定資産売却損	10	-
固定資産除却損	16	2
特別損失合計	27	2
税金等調整前四半期純利益	1,543	341
法人税、住民税及び事業税	22	19
四半期純利益	1,521	321
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,521	321



## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益	1,521	321
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	3
為替換算調整勘定	-	△63
退職給付に係る調整額	48	57
その他の包括利益合計	44	△3
四半期包括利益	1,565	318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,565	318
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

(本社ビルの建替え)

当社は、2020年7月16日開催の取締役会において、現在の本社所在地に新本社ビルを建設することを決議致しました。建設期間中については、本社機能を一時移転し、完成後に現本社所在地に移転します。

1. 本社ビル建替えの目的

現本社ビル(1971年竣工)は築後49年が経過し老朽化が進行していることから、耐震性能に優れた新本社ビルの建設により、防災・BCP(事業継続計画)対策を強化するとともに、生産性向上につながる働きやすい職場環境の整備、セキュリティの充実等を図るものです。

2. 本社ビル建替えの概要

- (1) 本社ビル所在地 東京都港区芝公園二丁目9番3号(現所在地に同じ)
- (2) 敷地面積 411.13㎡
- (3) 新本社ビルの概要 未定

3. 本社機能の一時移転先について

- (1) 一時移転所在地 東京都港区三田三丁目13番16号  
三田43MTビル 9階
- (2) 移転日 2020年9月23日(予定)

4. 2021年3月期の業績に与える影響

本社ビルの建替えによる解体費用や固定資産の耐用年数の見直し、また本社機能の一時移転に伴う費用等により約491百万円を計上する見込みです。この数値は、現時点での見積りによる概算値であり算定前提の変更に伴い変動する可能性があります。本件に関して、業績予想の修正等の必要が生じた場合には、速やかに開示致します。

3. 補足情報

四半期個別受注の概況

個別受注の実績

	受 注 高	
2021年3月期第1四半期	15,866百万円	△22.4%
2020年3月期第1四半期	20,453百万円	29.0%

(注) ①受注高は、当該四半期までの累計額

②パーセント表示は、対前年同四半期比較増減率

受注実績の内訳

(単位：百万円)

区 分		前第1四半期 (2020年3月期 第1四半期)		当第1四半期 (2021年3月期 第1四半期)		増 減		前 期 (2020年3月期)		
		金額	構成 比率%	金額	構成 比率%	金額	増減率 %	金額	構成 比率%	
受 注 高	建 設 部 門	国内官公庁	8,379	41.0	3,708	23.4	△4,671	△55.7	34,771	42.4
		国内民間	8,738	42.7	8,786	55.3	47	0.5	30,730	37.5
		計	17,118	83.7	12,494	78.7	△4,624	△27.0	65,502	79.9
	製 品 部 門 等	3,334	16.3	3,371	21.3	37	1.1	16,432	20.1	
	合 計	20,453	100.0	15,866	100.0	△4,586	△22.4	81,934	100.0	